

分析結果報告書〔3〕 1 / 3

1.3 排水試料(硝酸性窒素)

機関コード	
機関名	
電話番号	
国際的な認証等の取得(複数回答可)	1. ISO 9001~9003 2. ISO 14001 3. ISO/IEC 17025(ガイド25) 4. M L A P 5. 環境省が実施するダイオキシン類の請負調査の受注資格
分析主担当者名	
分析主担当者の経験年数	()年
分析主担当者の実績 (年間の分析試料数)	()

回数	分析結果(mg/L) 注1)	
	検出下限値以上 注2)	検出下限値未満での検出下限値 注3)
1回目		
2回目		
3回目		

注1) 一旦受領した結果については、訂正があっても受け付けませんので、記入間違いや単位間違い等に注意する。

硝酸性窒素の濃度(mg/L)で記入する。

注2) 検出下限値以上であった場合、分析結果を有効数字3桁で記入する。

注3) 検出下限値未満であった場合、検出下限値を有効数字1桁で記入する。

分析開始月日	月 日
分析終了月日	月 日

分析方法	1. 還元蒸留-インドフェノール青吸光光度法 2. 銅・カドミウムカラム還元-ナフチルエチレンジアミン吸光光度法 3. イオンクロマトグラフ法 4. その他()
使用した水	1. 蒸留水 2. 10交換水 3. 超純水 4. その他()

<還元蒸留-インドフェノール青吸光光度法>

「硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素の分析」

試料量	() mL
留出液量	() mL
留出液の分取量	() mL
測定波長	() nm
分析結果 (硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素)	1回目() mg/L 注4) 2回目() mg/L 3回目() mg/L

注4) 分析試料中の濃度を示す。検出下限値未満では「ゼロ(0)」と記入する。

「亜硝酸性窒素の分析」

方法	1. ナフチルエチレンジアミン吸光光度法 2. イオンクロマトグラフ法 3. その他()
試料量	() mL
分析結果 (亜硝酸性窒素)	1回目() mg/L 注4) 2回目() mg/L 3回目() mg/L

注4) 分析試料中の濃度を示す。検出下限値未満では「ゼロ(0)」と記入する。

分析結果報告書〔 3 〕 2 / 3

< 銅・カドミウムカラム還元-ナフチルエチレンジアミン吸光光度法 >

「硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素の分析」

試料量	() mL
還元用溶液量	() mL
流出液の分取量	() mL
測定波長	() nm
分析結果 (硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素)	1 回目 () mg/L 注 4) 2 回目 () mg/L 3 回目 () mg/L

注 4) 分析試料中の濃度を示す。検出下限値未満では「ゼロ (0) 」と記入する。

「亜硝酸性窒素の分析」

方法	1 . ナフチルエチレンジアミン吸光光度法 2 . イオンクロマトグラフ法 3 . その他 ()
試料量	() mL
分析結果 (亜硝酸性窒素)	1 回目 () mg/L 注 4) 2 回目 () mg/L 3 回目 () mg/L

注 4) 分析試料中の濃度を示す。検出下限値未満では「ゼロ (0) 」と記入する。

< イオンクロマトグラフ法 >

準備操作 (前処理)	1 . 前処理を行わない 2 . 行う ()
試料の希釈 (希釈倍率)	希釈倍率 () 注 5)
溶離液の種類	()
分離カラムの種類	()
イオンクロマトグラフ メーカー型式 区分	() 1 . サプレッサー型 2 . ノンサプレッサー型
注入量	() μ l

注 5) 希釈しない場合には、希釈倍率を「1」とする。

分析結果報告書〔 3 〕 3 / 3

< 検量線の作成等 1 >

測定対象	1. 還元蒸留-吸光光度法の「硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素」 2. 銅・カドミウムカラム還元-吸光光度法の「硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素」 3. イオンクロマトグラフ法の「硝酸性窒素」 4. その他()
標準液濃度の表示	1. 窒素(N) 2. アンモニウムイオン(NH ₄ ⁺) 3. 硝酸イオン(NO ₃ ⁻) 4. 亜硝酸イオン(NO ₂ ⁻) 5. その他()
検量線 作成点数 作成範囲 最高濃度の指示値	() 最小() ~ 最大() 注6) ()
試料の指示値	1回目() 2回目() 3回目()
空試験の指示値	()

注6) 吸光光度法では「μg」、イオンクロマトグラフ法では「mg/L」とする。

< 検量線の作成等 2 >

測定対象	1. 還元蒸留-吸光光度法の「亜硝酸性窒素」 2. 銅・カドミウムカラム還元-吸光光度法の「亜硝酸性窒素」 3. イオンクロマトグラフ法の「亜硝酸性窒素」 4. その他()
標準液濃度の表示	1. 窒素(N) 2. アンモニウムイオン(NH ₄ ⁺) 3. 硝酸イオン(NO ₃ ⁻) 4. 亜硝酸イオン(NO ₂ ⁻) 5. その他()
検量線 作成点数 作成範囲 最高濃度の指示値	() 最小() ~ 最大() 注6) ()
試料の指示値	1回目() 2回目() 3回目()
空試験の指示値	()

注6) 吸光光度法では「μg」、イオンクロマトグラフ法では「mg/L」とする。

分析実施にあたっての留意した点及び問題と感じた点	
--------------------------	--

計算式	
-----	--